予想を上回る豪雨が襲った。

近年、毎年の如く激甚化している自然災害。昨年も「九州北部豪雨」が発生し、私たちが暮らす筑豊地区の添田町で、大きな恐怖と被害をもたらしました。「もしも」の時に、自分や大切な人を守るためには、どうしたらいいのか…昨年の豪雨により添田町で発生した土砂災害の現場で指揮を執った田川地区消防署 本署中隊の立花慶朗 中隊長にお話しを伺いました。

1 長さ20m以上の木が倒れて道路をふさいだ、国道500号の中河原町バス停付近で発生した土砂災害。2 罹災建物の裏にある小さな川に土砂が流れ込み、その土砂がさらに広範囲で流れ込み本流の彦山川にも流入。3 日田彦山線の線路土手が全て流され、宙に浮いた線路。

突然の豪雨が町を襲う 想定を超える雨量と恐怖

昨年、7月8日から11日かけて予想を上回る豪雨が九州北部を襲いました。添田町では、9日の夜にかけて降雨と小康状態を繰り返す状態が続きましたが、10日の2時頃から非常に激しい雨が降り出します。添田観測所では4時からの1時間雨量37・5㎜を観測。英彦山では、10日の10時に24時間降水量の日最大値は観測史上最も多い423㎜を記録しました。この時、町は気象庁などから発表される気象情報を基に町内全域に警戒レベル4「避難指示」を発令します。さらに降りやまない雨に7時20分、大雨特別警報が発表されたことから警戒レベル5「緊急安全確保」を発令。添田町内にある9箇所の避難所に最大121人が避難しました。この豪雨で土砂崩れによる孤立集落の発生や、尊い命が失われるなど、想定を絶する恐怖を味わいました。

昨年発生した添田町庄での土砂災害では本署中隊長として、令和3年添田町落合地区の土砂災害では消防隊長として現場活動の指揮を担当。平成21年の弁城地区の土砂災害時は警防課指令室（現指令課）での任務を遂行。

田川地区消防署 本署中隊 中隊長
立花 慶朗 氏

特集 命を守るために

「災害時は焦って当然」事前に知ることの大切さ

災害時は必ずパニック状態になり、どうすればいいのかわからなくなります。このような状態になるのは当たり前。災害時では、小さな行動が生死を分けます。慌てず、スムーズに行動できるようにするためには、日頃の「備え」が必要だと考えています。備蓄を準備することだけが「備え」ではなく、救助活動を依頼する時に必要な住居の位置、近所の目印の確認や災害時、家の中の避難場所を決めることなども「備え」の一つ。命に代えられるものはありません。自分や大切な人の命を守るため、事前に最悪の場合を想定し「備え、考えること」が重要です。

→豪雨で流された桜橋付近の護岸。国土交通省による懸命な復旧作業で仮復旧工事は、わずか7日間で終了。

←国道500号の鍛冶屋町バス停付近で発生した土砂災害が道を寸断。

↑JR日田彦山線・彦山駅付近の川が九州北部豪雨で氾濫。

防災から地域活性化へ 広げ高める防災意識

災害時、情報の伝達と共有はとても重要になってきます。高齢者や病気のかたなど、すぐに避難できない人もいます。事前に避難経路や連絡網の確認、地域コミュニティの構築、行政、公的機関との情報交換を行うことで助かる可能性が高まります。

「共助を高める＝地域コミュニティの活性化」になると、私は考えています。いざという時は、人とのつながりがみなさんを災害から守ります。災害が多発している今、地域とのつながり「共助」を考え、一人ひとりが防災意識を持つことで「自助」を高めることが重要になってきます。みなさんが防災力を身につけることで、我々もいろんな場面でスムーズに救助活動が行うことができます。

我々とみなさんは、いつくるかわからない自然災害から命を守るためにともに助け合いながら立ち向かわないといけないのです。

過去の悲劇と教訓を忘れぬように

7月24日は「福智町 防災の日」

平成21年7月中国・九州北部豪雨により本町に大きな被害をもたらした災害の体験と教訓を永久に忘れることのないよう町民一人ひとりが様々な災害についての防災意識を高めるとともに、町は町民との協働により災害に対する備えを充分に強化し、安全で安心なまちづくりを推進するために7月24日を「福智町 防災の日」と定めました。我々はこの条例に基づき身辺及び地域の安全確認や防災知識の習得に努めて地域防災力を高め、一人ひとりが危機感をもって防災に取り組むことが重要です。

→「防災の日」を定めた石碑

Disaster

災害から命を守るために

いつもの「備え」が、いつかの「助け」に。

いつ起こるかわからない災害は、予期できない想像以上の被害をもたらします。
災害時にスムーズに行動できるよう、普段からできる備えをご紹介します。

1 ご家族同士の安否確認方法と避難場所や経路は確認していますか？

災害が発生した場合に備え、日頃から安否確認の方法や集合場所、避難場所、避難経路を事前に話し合っておきましょう。災害時には連絡がとれない場合もあります。その際には以下のサービスを利用しましょう。

▶ 災害用伝言ダイヤル（171）
局番なしの「171」に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが、伝言を再生できます。

▶ 災害用伝言板
携帯電話から伝言板を使用して情報を登録し、電話番号を知っている家族などが、情報を閲覧できます。

2 食料・飲料などの備蓄品は十分ですか？

災害で電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備え、普段から日常生活で利用している食品や飲料水、保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。
※一週間分の食料を備蓄するのが望ましい。

●ローリングストック法

ローリングストック法とは、【蓄える→食べる→補充する】を繰り返しながら一定量の食品を備蓄すること。ふだん食べている食料を少し多めに買い、賞味期限の古いものから消費するので、誰でも無理なく簡単に始めることができます。

3 非常用持出袋であらかじめの準備できてますか？

自宅が被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックなどに詰めておきましょう。

CHECK LIST

- ☐ 飲料水・保存食
- ☐ 防災用ヘルメット
- ☐ 衣類・下着
- ☐ レインウェア
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 予備電池・携帯充電器
- ☐ マッチ・ろうそく
- ☐ 救急用品
- ☐ ブランケット
- ☐ ウェットテッシュ
- ☐ 軍手・タオル
- ☐ 洗面用具
- ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉
- ☐ ペン・ノート

※ 状況に応じて物品を準備してください。

4 災害レベルを理解し的確な避難行動をしましょう。

警戒レベル	行動を促す情報	災害時とるべき行動
5	緊急安全確保	命が危険ですので、直ちに身の安全を確保しましょう。
～警戒レベル４までに全員必ず避難を！！～		
4	避難指示	速やかに危険な場所から避難をしましょう。
3	高齢者等避難 災害のおそれあり	避難に時間を要する人は避難をしましょう。
2	洪水注意報 大雨注意報等	自らの避難行動を確認しましょう。
1	早期注意情報	災害への心構えを高めましょう。

防災対策を通して学ぶ「備え」と災害の恐ろしさ

自然災害による被害を可能な限り少なくするためには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合って取り組む「共助」、国や地方公共団体などが取り組む「公助」の3つが大切だと言われています。その中で最も重要なのが「自助」。「自分の命は、自分で守る」という意識で、一人ひとりが自分の身の安全を確保することを意味します。災害が発生したときは、まず自分が無事であることが重要となります。「自助」に取り組むにあたって、いつ起こるか分からない災害に備え、安全対策を講じておくと同時に、自然災害に遭遇したときの身の守りかたや防災対策に関する知識を学んでおくことが重要です。

防災対策に十分や絶対に大丈夫といったことはありません。4･5ページで紹介した対策だけではなく、自宅周辺の災害リスクの認識と自分と家族にとって何が本当に必要なのかを考え備えましょう。

福智町防災ハザードマップを更新

町民の皆さまに、風水害や台風、洪水、土砂災害等に関する情報を提供し、災害に対する備えに役立てていただくことを目的に作成した福智町防災ハザードマップを令和6年2月に更新しました。洪水浸水想定区域の追加や避難場所の一部変更などがありますので、各自でしっかり確認をし、自分の命や大切な家族を守るため、家族みなさんでこの福智町防災ハザードマップをご活用ください。

←Webハザードマップ

←冊子版ハザードマップ

●防災ハザードマップの活用方法

01. どこに避難所があるのかを確認

避難施設一覧で確認 ▶ P19 ～ 20 施設一覧
ハザードマップで確認 ▶ P23 ～ 33 ハザードマップ

02. 自宅周辺の危険箇所やリスクを確認

自宅周辺に洪水浸水想定区域と土砂災害警戒区域があるのか確認 ▶ P23 ～ 33 ハザードマップ

03. 各機関が発信する防災情報の確認

役場、国や県などが随時発信する正確な情報を確認しましょう。
▶ P15～16 防災情報の収集

4. 避難する際の持ち出し品の確認

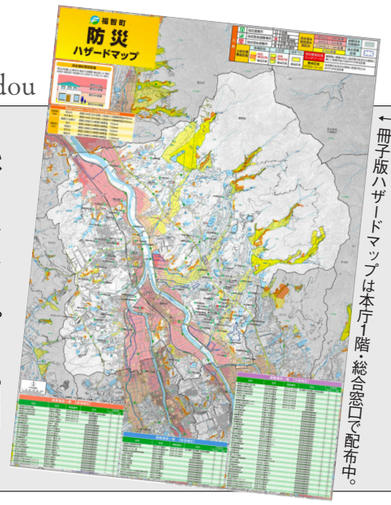
非常持ち出し品を確認しましょう。
▶ P13～14 防災対策と非常時の持ち出し品の準備とチェック

福智町ハザードマップの更新・作成に協力した ▶

株式会社ゼンリン 工藤 俊一 氏 Shunichi Kudou

ハザードマップを活用し「もしも」から命を守る

今回の福智町ハザードマップの更新では、福智川と弁城川、伊方川などの県河川の洪水浸水想定区域が令和4年に公表されたため追加しました。浸水エリアじゃない地域も災害リスクは全くないということではありません。みなさんにはハザードマップをご活用いただき、災害リスクを想定して備えを行ってください。「もしも」に備え、気を抜かずにしっかり避難場所の確認などを行ってください。



←冊子版ハザードマップは本庁1階 総合窓口で配布中。

Interview

自主防災組織について語る

ときには深刻な被害をもたらす災害。今こそ、「自助」と「共助」の重要性を再認識する必要があります。福智町防災アドバイザーの髙木敏行さんに「自主防災組織」の重要性や役割などについてお話しを伺いました。

自主防災組織から広げる地域の輪とまちづくり

自分たちの地域は自分たちで守るという目的で地域が自主的に結成する「自主防災組織」。平常時の活動は、防災知識の普及や防災訓練の実施、地域の災害危険箇所の把握などがあります。災害時は、災害情報の収集や住民の迅速な伝達、出火防止と初期消火などの防災活動を実施。地域の実情に応じ、役割分担をそれぞれの自主防災組織で決め、他組織との連携が必要となります。

災害時、国や県、市町村などの行政が行う公助には、おのずと限界があり、「自分の命は自分で守る」という自助と共助が重要になってきます。

現在、福智町には17の自主防災組織があります。町の課題として、福智町の結成率（全国平均は84・3％ 福智町は20・5％）が全国的に比べても低いことや自主防災活動に対する住民の意識不足などがあります。

近年、気候変動の影響で想定を超える災害の発生や災害規模の拡大で、深刻な被害をもたらすことがあります。過去の災害教訓から「公助」だけでは限界があり、「自助」と「共助」が重要視されています。現在、地域コミュニティが希薄になるなか、自主防災組織によって、近所どうしのつながりが構築され、災害時に迅速な情報伝達や早い段階での救助活動が可能となり、被害を最小限に抑えることができます。今こそ自主防止組織について考え、防災意識を高めることが、災害から命を守るために私たちができることではないでしょうか。

消防団と自主防の連携で図る3つの「助」の強化

風水害や地震などの自然災害が多発している状況の中で、地域防災体制の強化は喫緊の課題です。災害時にスムーズに情報伝達と救助活動が行えるためにも普段から情報交換や防災に関して専門的な知識と技能を持つ消防団と自主防災組織がともに訓練を行うなど、連携強化と地域防災力の充実と強化を図ることが重要です。

守り手一人ひとりが防災意識を持つだけではなく、組織全体で防災訓練や防災講演会などを通じて地域防災力を高める取り組みを推進する必要があります。

「自分たちの地域は自分たちで守る」災害大国で必要なのは、地域防災力。

福智町防災アドバイザー
髙木 敏行 氏

田川地区消防本部にて、消防士、消防司令補として11年9か月勤務。多くの災害現場で経験した中で、令和元年度に（株）かんがえる防災を起業。防災士や防災危機管理者等多数の資格を活かし、全国各地で講演会や起業、官公庁での防災支援を精力的に実施。令和4年度より「福智町防災アドバイザー」に就任。

自主防災組織を結成しませんか！

自主防災組織とは、地域住民が協力して「自分たちの地域を自分たちで守る」ために立ち上げる組織のことです。平常時には災害に備えた取組を実践し、災害時には被害を最小限にくい止めるための応急活動を行います。

また、復旧・復興時には、町の再生のために様々な取組も行います。

問 役場 防災管理管財課 防災危機管理係 ☎22-7771

福智町自主防災組織一覧

令和6年2月1日現在

上野２区自主防災・防犯会	金田第２行政区自主防災・防犯会
上野三区自主防災・防犯会	金田３行政区自主防災・防犯会
赤池第６行政区自主防災・防犯会	金田４行政区自主防災・防犯会
赤池第11行政区自主防災・防犯会	金田14行政区自主防災・防犯会
赤池第12行政区自主防災・防犯会	福丸防災会（金田８－１区）
赤池第15行政区自主防災・防犯会	方城第７行政区自主防災・防犯会
赤池第26行政区自主防災・防犯会	方城第８行政区自主防災・防犯会
赤池第28行政区自主防災・防犯会	方城第14行政区自主防災・防犯会
	犬星24区自治会

Fight together

福智町消防団×自主防災組織

Column

福智町消防団 団長
世良 喜彦 氏

災害時は消防団だけでは、救助活動に限界があります。そこで、「自助」と「共助」の機能を充分に発揮してくれる自主防災組織の方々の力が必要です。我々、福智町消防団は自主防災組織との横のつながりをもっと大事にし、「地域を守る」という共通の目的で、ともに活動を行っていきたいです。

→ 出水期前に伴い、６月２日に福岡県総合防災訓練で汗を流しながら懸命にたくさんの土嚢を作る福智町消防団員の職員たち。

福智町消防団員募集中！

対象者▶ 性別問わず、下記に該当する人

① 町内に居住する人、または勤務する人
② 18歳以上で身体ともに健康な人

主な消防団の待遇▶

○ 公務災害補償・福祉共済の完備
○町や県、国の表彰制度あり
○消防団活動に必要な被服貸与

※その他は、町HPで公開中。上の二次元コードからご確認ください。

問 役場 防災管理管財課 防災危機管理係 ☎22-7771